

2022年度 日本工学院専門学校											
C G 映像科											
美術基礎 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	小川 泰			実務 経験	有	職種	美術家				
担当教員紹介											
多方面のデザイン現場での活躍経験により、美術と歴史とメディアとの関連に高い専門力を持つ。美術的発想法の指導に加え、ワークショップ指導を得意とする。											
授業概要											
本科目では一般教養としての芸術・美術を学習する。 CGやイラストなどの表現手法が歴史の中でどのように成り立っていったのかを美術史を通じて知り、 絵画、彫刻、デザイン、工芸、建築、現代美術までの様々な表現の知識を有することで今後の制作活動がさらに有用になる。 造形学では知識を得るだけでなくそれぞれの表現手法に則った実技を行い、芸術・美術についての基礎知識と技能を確立する。											
到達目標											
美術についての基礎知識を養い、様々な表現手法についての理解を深めることにより 作品を作る意図やそのプロセスを理解し狙いを見る目を鍛え、それを実践の場でも活かし自己の制作物の表現の幅を広げる。											
授業方法											
芸術・美術を絵画、彫刻、デザイン、工芸、建築、写真、現代美術などジャンル毎に歴史、表現手法、作家を学習し、 それに沿った作品制作を課題毎に行う											
成績評価方法											
試験・課題	80%	理解度確認のために課題制作を行う									
平常点	20%	積極的な授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、課題の達成率を重視する。 好奇心を持って授業に取り組み、意欲を持って課題を制作すること。課題をよく理解し目標を持って課題に取り組むこと。 課題の提出や期限を守らない場合は減点、不合格の対象となる。 授業時間以外の制作もあるので注意すること。授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	「芸術」 古代から現代までの美術の歴史と芸術の持つ意味について理解する										
第2回	「絵画1」 絵画の鑑賞を通して、絵画の価値の変遷について理解する										
第3回	「絵画2」 様々な絵画作品の知識をもとに、絵画の持つジャンルの特性について理解する										
第4回	「彫刻」 彫刻作品の成り立ちを知り、彫刻の概念について理解する										
第5回	「空間アート」 美術作品の展示方法、設営方法を通して、インスタレーションについて理解する										

2022年度 日本工学院専門学校	
C G 映像科	
美術基礎 3	
第6回	「デザイン1」デザインの種類を学習し、グラフィックデザインについて理解する
第7回	「デザイン2」デザインの種類を学習し、プロダクトデザインについて理解する
第8回	「工芸1」様々な工芸作品を鑑賞し、工芸について理解する
第9回	「工芸2」バウハウスを通して、工業製品とデザインの関係について理解する
第10回	「建築」建築の社会における役割を学習し、建築作品について理解する
第11回	「写真」新しい芸術のジャンルである写真作品を鑑賞し、写真作品について理解する
第12回	「現代美術1」現代美術の成り立ちを通して、現代美術の概念について理解する
第13回	「現代美術2」日本における現代美術の状況を知り、21世紀におけるアートの役割について理解する
第14回	「現代美術3」身近にあるアート作品を知り、アート作品の制作方法について理解する
第15回	「アートマーケット」アート作品が実社会でどのように機能し展開するかを学習し、アートの役割について理解する